

原則として、モイスかべつよしにて設計を行う。  
壁補強の際は接合部 とし、壁補強が終わった時点で接合部の検討を行う。

## 普通の壁の場合【L（入隅）・T（直交）ではない壁】

	半間（1マス）	1間（2マス）	1間（2マス）土壁の場合
大壁	【1】MDF 大壁 T 【8】モイス 大壁 t	【3】MDF 大壁添え柱 W 【10】モイス 大壁添え柱 w	【4】MDF 大壁後施工 X 【11】モイス 大壁後施工 x
真壁	【5】MDF 真壁 V 【12】モイス 真壁 v	【6】MDF 真壁添え柱 Y 【13】モイス 真壁添え柱 y	【7】MDF 真壁後施工 Z 【14】モイス 真壁後施工 z

## L（入隅）・T（直交）の壁の場合

	半間（1マス）	1間（2マス）	1間（2マス）土壁の場合
真壁	【5】MDF 真壁 V 【12】モイス 真壁 v	【6】MDF 真壁添え柱 Y 【13】モイス 真壁添え柱 y	【7】MDF 真壁後施工 Z 【14】モイス 真壁後施工 z
凡例			

### 【設計上のルール】

- ・選定部材については、  
1P(600mm～1000mm)は“【12】モイス 真壁 v”、  
1.5P～2P(1350mm～2000mm)は“【13】モイス 真壁添え柱 y”を選定する。
- ・既存で筋かい及び土壁がある場合は、かべつよしの納まり上、筋かい及び土壁は外して設計をする。
- ・柱の引き抜き計算は、かべつよしの同梱金物“てもとせーこ(15kN)”以下となるように設計する。
- ・連続した壁でかべつよしを設計する場合は、設計施工説明書P46～P49に準じた制限のもと設計する。

### 【柱頭金物納まり】

